

Technical Information	
文書番号	SYMC-SBG-090918-1
タイトル	Symantec Brightmail Traffic Shaper Version 6.0.1-12 リリースノート
対象機器	Symantec Mail Security 8160
ソフトウェアバージョン	6.0.1-12
プラットフォーム	-
参照	-
問合せ先	日商エレクトロニクス株式会社 ソリューションパートナー統括部 技術統括部 サポート第一グループ E-mail: symc-support@nissho-ele.co.jp

本書について

Symantec Brightmail Traffic Shaper Version 6.0.1-12 に関する情報が含まれています。
Symantec Mail Security 8160 は V6.0 より Symantec Brightmail Traffic Shaper (以下 SBTS) に名称が変更になりました。

本リリースについて

SBTS Version 6.0.1-12 は、従来の SMS Version 6.0.0-52 のパッチアップデートとなります。

リソース

詳細な情報は以下より入手可能です。

<メーカーマニュアル/メーカーリリースノート(日本語)>

<http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/enterprise/sbm/sbts6.0.1/manuals.html>

<メーカー ナレッジベース(英語)>

http://www.symantec.com/business/support/knowledge_base_sli.jsp

新機能または強化点

Version 6.0 の主な新機能 (Version 5.5 と比較) は以下となります。

- ・ 最大同時接続数
 - アプライアンス 1 台につき最大 30,000 の同時接続が可能になりました。
- ・ 拡張されたデータベースサイズ
 - IP のデータベーステーブルを 5 倍まで拡張可能になりました。
- ・ レポート機能の強化
 - シェーピング処理の結果を Syslog にエクスポートが可能になりました。
 - シェーピング時の SMTP エラーメッセージがカスタマイズが可能になりました。
 - 管理コンソール上のレポート画面が改善されました。
- ・ アンチスパムデータベースの管理機能の強化
 - 登録 IP アドレス情報の検索機能が強化されました。
 - 特定のネットワークパスに対して指定した日数の間、ロックすることが可能になりました。
- ・ 新しいユーザの種類
 - アクセスレベルを制御するユーザグループが追加されました。
- ・ スпам対策フィルタ
 - スпам対策フィルタに使用するルールセットの選択が可能になりました。
- ・ コマンドラインの強化
 - 新しく追加された stagectl コマンドを使用して、トラフィック制御ステージを変更することが可能になりました。

Version 6.0.1-12 の新機能は以下となります。

- ・ アウトバウンドトラフィックシェーピングステージ
 - アウトバウンドトラフィックシェーピングステージを追加しました。
 - アウトバウンドステージは、ルーティングモードでのみ使用できます。

- ・ R610 ハードウェアのサポート
 - Symantec Brightmail Traffic Shaper 6.0.1 は、シマンテック社指定の Dell R610 ハードウェアをサポートするようになりました。

変更/修正内容

Version 6.0 の変更及び修正内容は以下となります。

- ・ [Altered Paths] ページが [Paths] タブから削除され、[Search Paths] ページから検索条件を使用して検索が可能になりました。
- ・ [Reports] タブで使用可能だった [Performance Report] ページが削除されました。

既知の問題/注意事項

現在、Version 6.0 で確認されている問題は以下となります。

ここに記載の内容以外の問題に関しましてはメーカーリリースノートをご覧ください。

- ・ アップグレード後のバックアップについて

Backup Path Data より自己学習した path 情報のバックアップを取得して下さい。Path 情報をバックアップされない際はハードウェア交換時にお客様環境の path 情報が無い為にメールの遅延が発生することがあります。

- ・ 設定情報について

アップグレード前に V4、V5 の設定のバックアップファイルを取得したとしても、アップグレード後にそのファイルを利用することが出来ません。

設定のバックアップファイルに関しては、アップグレード後にエクスポートしたファイルのみがインポートすることが可能です。

- ・ 設置構成に関して

SBTS は BridgeMode と RoutingMode の 2 種類の構成を取ることが出来ますが、BridgeMode をご使用頂く様お願いします。

BridgeMode 時に 1 台の SBTS に対し、複数台の ProtectServer を設定すると SBTS の障害時に全ての ProtectServer と通信が出来なくなります。

そのため、SBTS 1 台に対して ProtectServer は 1 台の構成を組んで頂くようお願いします。

- ・ Software Updates のスキップ

初期セットアップ時に Software Updates による OS のアップデートをスキップ可能になりました。

これにより CD リストアした状態の OS バージョンによる運用が可能になります。

- ・ 管理インターフェースからのルーティング(eth2)
トラフィックが管理インターフェース eth2 の IP アドレスへ、eth0 または eth1 を介して到達する
ような、非対称ネットワークポロジータを設定できます。
ただし、この設定は推奨されていません。
-

アップグレードについて

- V5 及び V6 からのアップデート方法
アップグレード後に自動で OS の再起動が行なわれます。

<アップグレード方法>

1. コントロールセンター(GUI)よりアップデート
 - 1-1. [Administration] -> 左側の[Software Updates] をクリックする。
 - 1-2. “6.0.1-12” が表示されていることを確認 -> [Install now] をクリックする。

<アップグレードの注意事項>

- ・ Backup Path Data より自己学習した path 情報のバックアップを取得して下さい。
- ・ Traffic Control をカスタムしている場合には、カスタムした Traffic Control の設定情報のバックアップを取得して下さい。

ダウングレードについて

アップグレード後にダウングレードすることは出来ません。

改訂履歴

- | | |
|------------|----------------------|
| 2009/9/18 | 初版 |
| 2009/10/29 | 第二版 “アップグレードについて”に追記 |

以上